

2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社 ジーダット

上場取引所

東

コード番号 3841 URL <https://www.jedat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 松尾 和利

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長

(氏名) 伊藤 公哉

配当支払開始予定日

TEL 03-6262-8400

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,502	1.2	156	4.8	164	17.8	120	16.4
2025年3月期第3四半期	1,519	10.1	164	6.0	199	11.7	144	29.2
			潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益					
2026年3月期第3四半期			円 銭					円 銭
2025年3月期第3四半期			31.30					37.46

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	4,356		3,560		81.7	
2025年3月期	4,273		3,594		84.1	

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 3,560百万円 2025年3月期 3,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	40.00
2026年3月期		0.00			40.00	40.00
2026年3月期(予想)		0.00			40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	6.7	290	12.8	300	3.4	220	3.1	57.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
以外の会計方針の変更	：無
会計上の見積りの変更	：無
修正再表示	：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	3,909,800 株	2025年3月期	3,909,800 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	60,472 株	2025年3月期	60,472 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	3,849,328 株	2025年3月期3Q	3,849,328 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におきまして、当社の主要顧客である半導体を含む電子部品業界では、引き続きAI関連分野は堅調に推移しているものの、スマートフォン、パソコン、産業機械向けの半導体デバイスについては低迷が続き、二極化の様相を呈しております。また、中国政府によるレアアースの輸出規制の動向次第では、今後、不透明感や景気減速感が顕在化する可能性があり、世界経済全体に対して下押し要因となることが想定されます。

このような状況の中、当社は産官学との協力を強化し、アナログ半導体向けにAIを用いた設計の自動化に取り組み、設計環境の効率化を追求しております。2025年10月には、木村情報技術株式会社（本社：佐賀県佐賀市、代表取締役：木村 隆夫、以下「木村情報技術」）と、教育分野における半導体設計の学習環境を整備することを目的に、教育機関向けクラウド版SX-Meister「SX-Cloud(仮称)」の提供に関する覚書を締結しました。本取組みにより、当社が開発する半導体設計用CAD/EDAツール「SX-Meister」を木村情報技術がクラウド化し、学生が場所を問わず実践的な半導体設計を学べる教育環境を提供できるようになりました。

また、同年10月には、「SX-Meister Technology Seminar 2025 October」をウェビナー形式にて開催し、「SX-Meister 最新機能と開発ロードマップ」をご紹介しました。多くのお客様に参加を賜りました。

同年12月には、主力製品であるSX-Meisterの1つである「SX-Meister SCAI」の機能強化など、様々な製品の機能追加、レイアウトの編集効率の向上、操作性の向上などを実装した「SX-Meister V20.0」をリリースしました。

国内の販売促進活動においては、2025年11月に開催された「JEVeC Day 2025」に、当社主力製品及び各パートナー企業の代理販売製品を出展し、多くの来場顧客に製品紹介を行うことができ、新規の商談開拓につながりつつあります。デバイス設計受託サービスにおいては、顧客開拓活動を積極的に実施した結果、順調に業績に貢献しました。

これらの活動にもかかわらず、前年同四半期に大型案件があったこともあり、売上高は、15億2百万円（前年同四半期比1.2%減）となり減収となりました。営業利益も、売上減による粗利減や人件費の増加等により1億56百万円（前年同四半期比4.8%減）と減少しました。経常利益は、助成金の収入減により、1億64百万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。四半期純利益は、1億20百万円（前年同四半期比16.4%減）となり、減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末と比較して83百万円（2.0%）増加し43億56百万円となりました。内訳として流動資産は1億3百万円（3.3%）増加し32億11百万円、固定資産は20百万円（1.7%）減少し11億45百万円となりました。流動資産が増加した主な要因は、電子記録債権が24百万円（11.1%）減少し1億94百万円となった一方で、現金及び預金が1億39百万円（5.5%）増加し26億85百万円となったことによるものであります。固定資産が減少した主な要因は、繰延税金資産が16百万円（29.9%）減少し39百万円となったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して1億16百万円（17.2%）増加し7億96百万円となりました。内訳として、流動負債は前事業年度末と比較して1億16百万円（17.3%）増加し7億92百万円、固定負債は3百万円（前事業年度末と同額）となりました。流動負債が増加した主な要因は、賞与引当金が44百万円（47.1%）減少し49百万円となった一方で、前受金が84百万円（19.1%）増加し5億26百万円となったことによるものであります。固定負債の内訳は、資産除去債務3百万円であります。

純資産は、前事業年度末と比較して33百万円（0.9%）減少し35億60百万円となりました。純資産が減少した要因は、利益剰余金の減少33百万円（1.7%）によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の84.1%から81.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日に公表しました2026年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合があり得ることをご承知おき願います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 545, 775	2, 685, 722
受取手形及び売掛金	286, 544	268, 548
電子記録債権	219, 190	194, 847
仕掛品	2, 029	3, 383
原材料	603	777
その他	53, 457	58, 062
流動資産合計	3, 107, 601	3, 211, 341
固定資産		
有形固定資産	22, 701	15, 750
無形固定資産	14, 589	10, 069
投資その他の資産		
投資有価証券	132, 121	134, 582
繰延税金資産	56, 639	39, 683
長期預金	900, 000	900, 000
その他	39, 719	45, 376
投資その他の資産合計	1, 128, 480	1, 119, 643
固定資産合計	1, 165, 771	1, 145, 463
資産合計	4, 273, 372	4, 356, 804
負債の部		
流動負債		
買掛金	56, 768	73, 384
未払法人税等	12, 312	14, 089
賞与引当金	94, 220	49, 800
前受金	441, 958	526, 220
その他	70, 147	128, 818
流動負債合計	675, 407	792, 313
固定負債		
資産除去債務	3, 700	3, 700
固定負債合計	3, 700	3, 700
負債合計	679, 107	796, 013
純資産の部		
株主資本		
資本金	762, 524	762, 524
資本剰余金	893, 443	893, 443
利益剰余金	1, 966, 937	1, 933, 462
自己株式	△28, 639	△28, 639
株主資本合計	3, 594, 265	3, 560, 791
純資産合計	3, 594, 265	3, 560, 791
負債純資産合計	4, 273, 372	4, 356, 804

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,519,713	1,502,114
売上原価	565,607	543,498
売上総利益	954,106	958,615
販売費及び一般管理費	789,235	801,689
営業利益	164,870	156,926
営業外収益		
受取利息	343	8,617
為替差益	7,805	5,013
助成金収入	27,232	—
その他	906	25
営業外収益合計	36,286	13,656
営業外費用		
投資事業組合運用損	1,435	4,542
その他	0	1,832
営業外費用合計	1,435	6,374
経常利益	199,721	164,207
税引前四半期純利益	199,721	164,207
法人税、住民税及び事業税	15,173	26,754
法人税等調整額	40,339	16,955
法人税等合計	55,513	43,709
四半期純利益	144,207	120,498

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社は、EDAソフトウェア開発・販売コンサルテーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社は、EDAソフトウェア開発・販売コンサルテーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	21,768千円

17,748千円